

# 宇陀市のめざす教育

## 基本方針 I

### 「生きる力」と「夢」を育む教育の実現

#### 就学前教育の充実 ～確かな学力・豊かな人間性・健やかな心身の育成～

学力定着に課題を抱える学校の重点的・包括的支援に関する実践研究（就学前・小・中学校）  
＜学びの創造 UDA プラン推進＞

平成 27 年度からの全国学力・学習状況調査国語・算数・数学調査問題からの考察

児童質問紙調査からの考察

- ① 基礎・基本の定着に課題が見られる。
- ② 目的や意図に応じて複数の「記述」「グラフ」「表」などから適切に情報を選択する力に課題がある。
- ③ ②に付随して、根拠を明確にして自分の考えを表現することに課題がある。
- ④記述問題（書く力）に課題があり、無回答率が高い。

- ① 国語に関する意欲は高いが、算数については低い。
- ② 家庭学習で宿題はしているが、予習・復習など自主的な学習に課題がある。
- ③ 「自分にはよいところがある」（自尊心）が全国比低い。（小-8.7、中-6.7）

研究課題：3つの重点課題

**（1）教師の指導力向上**

- ・わからない子、できない子、困った子の立場に立った学習、児童生徒指導（UD 化）
- ・主体的対話的深い学び（AL 化）

**（2）家庭学習の充実**

- ・具体的、継続的な指導
- ・生活上必要な習慣や技能の定着
- ・自立した生活態度（自分のことが自分でできる）

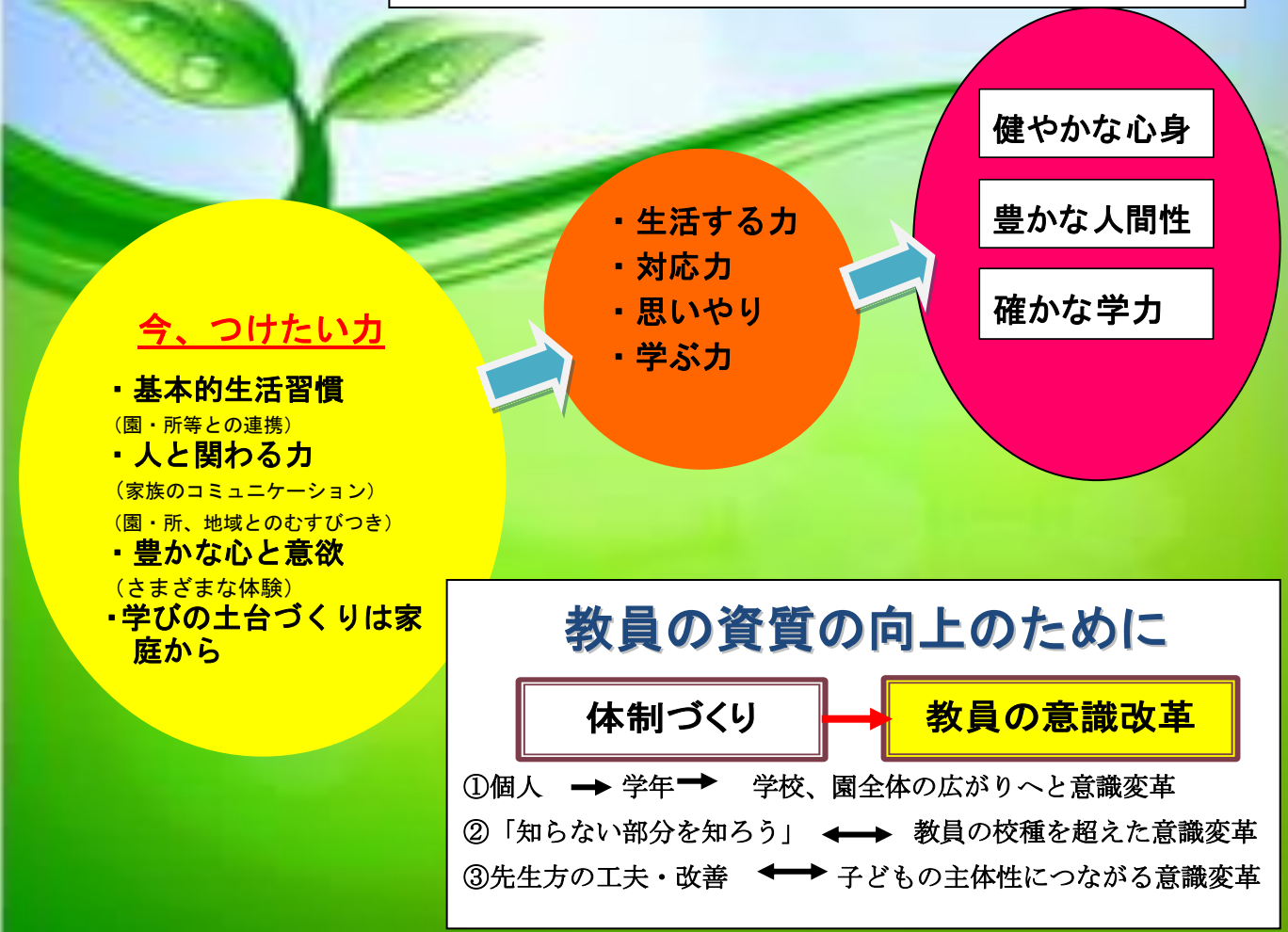
**（3）学びの意欲～理解度の低い子どもへの支援**

規範意識の向上、**幼小中連携**の取組

- ・宿題の出し方の工夫、学期末の復習の重視（小学校） 放課後学習会土曜塾（中学校）長期休業中の補習など、できることからやっていく
- ・学習規律を徹底し規範意識を高めることを授業やそれ以外の場面で充実させる。
- ・めざす子ども像を共有する、幼小、小中間の連携を推進する。

## 「生きる力」と「夢」を育む教育

0歳から15歳までの切れ目のない保育・教育を行い、一人一人の興味・関心に基づいた遊びや自然とのふれ合いなどの直接的・具体的な体験を通して、自尊感情や人とのかかわる力など「生きる力」の醸成。



**教員の資質の向上のために**

**体制づくり** → **教員の意識改革**

- ①個人 → 学年 → 学校、園全体の広がりへと意識変革
- ②「知らない部分を知ろう」 ↔ 教員の校種を超えた意識変革
- ③先生方の工夫・改善 ↔ 子どもの主体性につながる意識変革

**〈幼小接続〉**

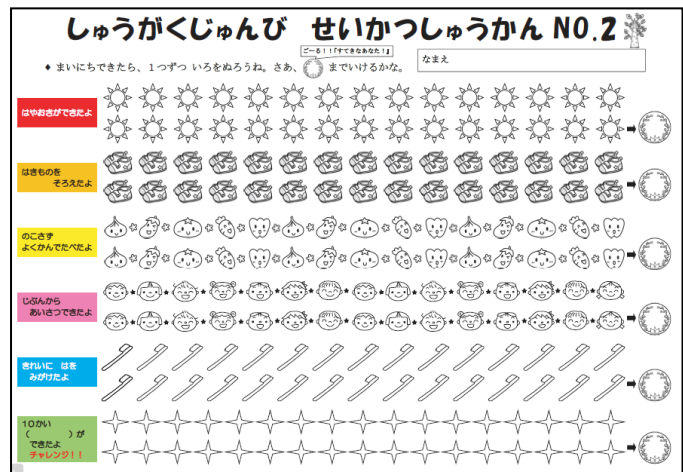
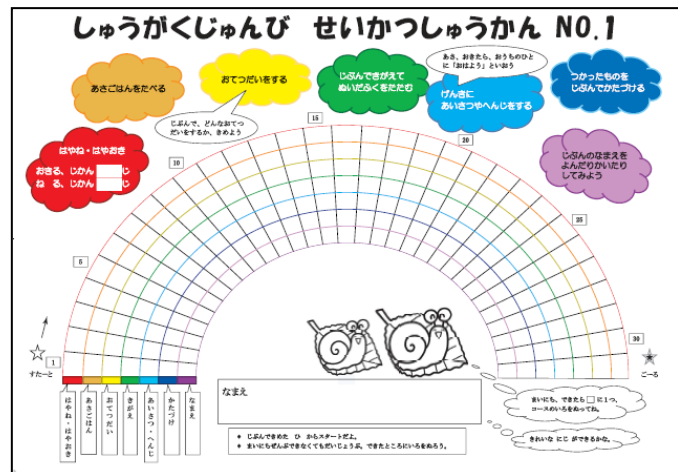
**「主体的・対話的で深い学びの実現」のために**

小学校・中学校での子どもたちの力が引き出されるよう、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方を探っていく。

- ・宇陀市立榛原東幼稚園・榛原東小学校が県の幼小接続事業、モデル指定校となって取り組む。（H28年度、H29年度）
- ・宇陀市幼小連携推進委員会を立ち上げ、モデル校の実践発表を聞いたり各地域の幼小接続の取組を情報交換したりしながら、研修を深め、更に市全体で高まっていけるようにする。

**「幼児期の学びを知り、小学校教育につなげる」**





### 「ワクワク ドキドキ 小学校」 ~知りたい・伝えたい・つながりたい~

宇陀市立榎原東幼稚園・宇陀市立榎原東小学校

幼稚園生活の中で、自分のしたいことを見付け、存分に遊ぶ幼児の姿が小学校生活の中でも発揮できるように願っている。しかし、幼児は漠然とした不安を抱えていることが分かった。本市では、幼児の不安感を素口に交流を醸成し、幼小接続に取り組んだ。

幼児の小学校に対する漠然とした不安

- ・給食の時間がわからずどうしよう
- ・学校まで歩いて行けるかな
- ・男の人がたくさんいるからドキドキする
- ・何か分からないけど不安

不安の解消

- 自己肯定感
- 学びに向かう気持ち

保護者の不安

- ・登下校について
- ・友達関係について
- ・小学校生活について
- ・給食について

「一緒に降りよう」人の役に立たてたという喜びを味わった。

小学校の運動会では5年生と手をつないでスタートラインへ。来年も、学校で出会う。

取組の成果と課題

○交流を通して自己肯定感を高める

幼児の姿から、小学校入学に向けての不安が高いことに着目し、幼小の交流のねらいを小学校について知ること、相手意識をもち、主体的に取り組むこととし、活動を設定した。継続して交流するためには、話し合いの機会を多くもつことが大切であり、事後の話し合いの中で、次の交流のアイデアが生まれてくる。交流のねらいが明確になり、互恵的・継続的な交流が実現する。

○保護者の不安感を軽減する

子ども同様、保護者の不安も大きいことが分かった。保護者の不安を取り除くために、先輩保護者との交流会を開催や「幼小連携だより」の発行をした。子どもが小学校生活に期待をもっている姿から、小学校での生活を見通しながら成長を見守ることができるようになり、保護者の期待につなげることができた。

○地域の協・保で共に取り組む

市内公・私立保育園・幼稚園5園交流会を開催している。5歳児が互いの知り合うことで入学時に早く慣れ合うことができる。また、教職員も、入学までに育てたい力を共有することができた。

○学び方を知り、教育をつなぐ

幼稚園や保育所に小学校の教員が訪れる中で、教育の中で大切にしているものが見えてきた。幼稚園教育を知ることが小学校入学時の姿やその時期の教育の方法を考えることにつながり、互いの教育をつなぐ糸口を見付けることができた。

【鈴木先生のコメント】

子どもたちの不安を受け止め、それを期待につなげていっている実践です。実は、子どもたちだけでなく、保護者も不安を抱えているのです。そこを丁寧にほめていくことで、保護者と子ども・先生が一体となって連携を進められたのが、この実践の優れたところ。夏休みに積極的に小学校の先生方を訪問したり、保幼でお互いに交流したり、先生方が「つながりたい」という思いを行動に移したことで、皆が安心できる環境が整ってきたのではないのでしょうか。保護者への関わりについて、これからも継続をお願いします。

## 不安から期待へ

「幼稚園って、どんなところ？」  
幼稚園の教育を知ることが、子どもたちへの支援のヒントとなった。

「小学校って、どんなところ？」  
幼児の期待や不安を知ることが大切！  
小学校に行くことによって、小学校がどんなところか分かってきた。

1年生からもらった校内の写真を見ながら、自分たちが探検したい教室について、話し合う機会を大切にしている。そのことで、幼児自身が主体的に交流会に参加できるようになった。

「小学校の扉がいつか、小学校への期待が膨らみ、幼稚園との違いが気づく。」

「6年生ってすごい」  
知らないことがいっぱい！  
もっともっと知りたい！  
私もやってみたい！

「幼小連携だより」  
幼小連携だよりを発行し、保護者の不安軽減につながった。

「小学校の先生が小学校」  
幼小連携だよりを発行し、保護者の不安軽減につながった。

「小学校の先生が小学校」  
幼小連携だよりを発行し、保護者の不安軽減につながった。

「小学校の先生が小学校」  
幼小連携だよりを発行し、保護者の不安軽減につながった。

### 「わくわく いきいき 小学校」 ~伝えよう つながろう 育ちと学び~

宇陀市立榎原東幼稚園 宇陀市立榎原東小学校

保護者の不安を取り除くために、交流内容の発信や就学に対する意見交流会を実施すると共に、『うちの子ども紹介シート』を作成した。

幼稚園保護者の思いや願いを知り、入学説明会で生かすことができる。同学年の友達や先輩とつながるきっかけとなるよう、『うちの子ども紹介シート』を活用する。

「幼稚園では、こんなふう」  
に子どもの気持ちを表現している。

「小学校では、こんなふう」  
つながっている！

「子どもたちから、どのようなねらいの指導案にするかを明確にしたことで、幼児たちが主体的に行動し活動することができた。

「師の交流会の経験をもとに、1年生なりに楽しい活動になるようグループ活動のめあてを定めて、交流会に臨むことができた。

「楽し合うことで、アイデアが生まれる。」

「楽しさは、どんな言葉をかけようか悩むから。」  
(保育指導)

情報交換・発信

- 園だより・学校だよりの交換
- 『うちの子ども紹介シート』での情報交換
- 保護者へのおたより
- 先輩保護者との懇談会

教職員同士の相互理解

- 保育の疑似体験
- 合同研修会

指導計画の作成

- 交流活動の計画を作成
- 幼小の育てたい子どもの姿(ねらい)を明確にし、指導計画を作成
- 事前事後の話し合いの時間を確保

子ども同士の交流

- 幼児と児童のふれあい
- 互恵性のある交流

学びを促す要素

「友だちとまわっていけるかな？」

「小学校はこんなところだよ。また、きてね。」

「みんな大きくなったね。小学校はどう？」

「お兄ちゃんお姉ちゃん、運動会に案内してくれるんだ！」

「この準備、この道具であるよ。」

「幼稚園と違って広いね。」

「園の先生が小学校へ。」

「小学校では、先生からしてもらうことが多い1年生だが、主体的に活動し準備するよ！機会となった。」

「大丈夫？私の手をもって！」

「ここに、いっぱいダンゴムシあるよ！」

## つながる

学びを促す要素

「友だちとまわっていけるかな？」

「小学校はこんなところだよ。また、きてね。」

「みんな大きくなったね。小学校はどう？」

「お兄ちゃんお姉ちゃん、運動会に案内してくれるんだ！」

「この準備、この道具であるよ。」

「幼稚園と違って広いね。」

「園の先生が小学校へ。」

「小学校では、先生からしてもらうことが多い1年生だが、主体的に活動し準備するよ！機会となった。」

「大丈夫？私の手をもって！」

「ここに、いっぱいダンゴムシあるよ！」